島根県水産試験場　漁海況情報　平成 17 年 4 月 27 日発行

トビウオ通信　(4 月号)

http://www2.pref.shimane.jp/suisi/　(TEL 0855-22-1720)

《平成 17 年度上半期浮魚中長期漁況予報》

平成 17 年 3 月に長崎市において、東シナ海～日本海西南海域にかけての対馬暖流域における主要浮魚類（マアジ、マサバ、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ）の長期漁況予報会議が開催されました。今月は会議内容をもとに、平成 17 年度前期（４～９月）の中・長期的な漁模様の予測をします。

漁　況（来　遊）予　報（H17 年 4 月～9 月）

- マアジ：前年を上回る
- マサバ：低調傾向も前年を上回る
- カタクチイワシ：前年を上回る
- ウルメイワシ：前年を下回る
- マイワシ：極めて少ない

マアジ資源は増加傾向！！

平成 16 年の東シナ海～日本海南西海域における大中型まき網によるマアジの漁獲量は 46,000 トンで、前年より約 15%減少しました（図 1）。

しかし、対馬暖流系群の H16 生まれの加入量は、H15 年生まれと同様に比較的高いため、本年の 1 歳魚、2 歳魚の資源水準も前年より多いと見積もられていることなどから、沖合域の来遊量は昨年を上回ることが予測されています。今後の、海況次第ではありますが、夏にかけて昨年を上回る漁獲が期待されます。

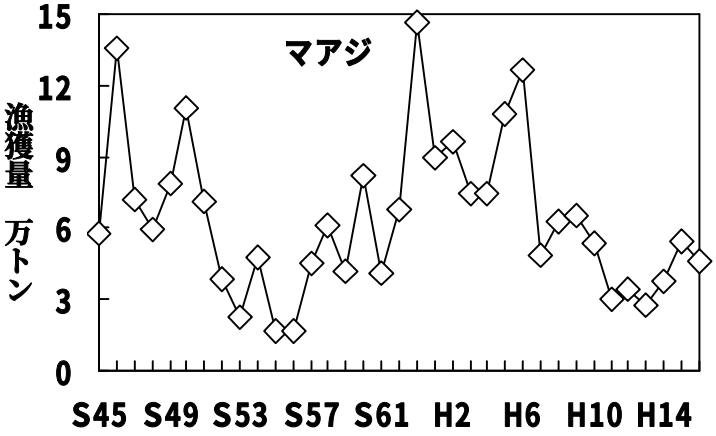


図 1　東シナ海における大中まき網によるマアジ漁獲量

マサバ資源は前年を上回る可能性あり

平成 16 年の東シナ海～日本海南西海域における大中型まき網によるマサバの漁獲量は 41,000 トンで、前年を 17,000 トン下回りました。平成

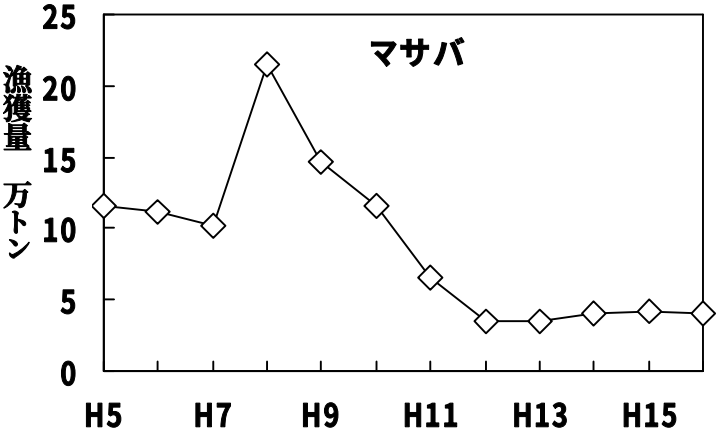


図 2　東シナ海における大中まき網によるマサバ漁獲量

12 年以降、漁獲量は低位横這い状態であり、資源水準は依然として低い状態です。（図２）

しかし、漁獲の中心となる１歳魚（平成 16 年生まれ）の資源水準が前年をやや上回ると予想されており、局地的な漁模様は回復する可能性もあると考えられます。

カタクチイワシの資源状態は前年を上回る可能性あり

平成 16 年の島根県の中型まき網（浜田・隠岐）によるカタクチイワシの漁獲量は 5,000 トンで、前年の約 1/3 まで低下しました。（図 3）

しかし、平成 16 年生まれの稚魚の資源状態は、前年の水準を上回っていると推測されており、実際、本年の 1～3 月の県内における漁獲動向をみると前年同期の 3.7 倍となりました。今後、来遊量の増加が期待されます。

ウルメイワシは前年を下回る

平成 16 年の島根県の中型まき網（浜田・隠岐）によるウルメイワシの漁獲量は 6,300 トンで、前年を約 1.8 倍上回る結果となりました。（図 3）

しかし、平成 16 年生まれの稚魚の加入量は、前年より低水準と推測されており、春以降の漁獲もあまり期待できないと思われます。

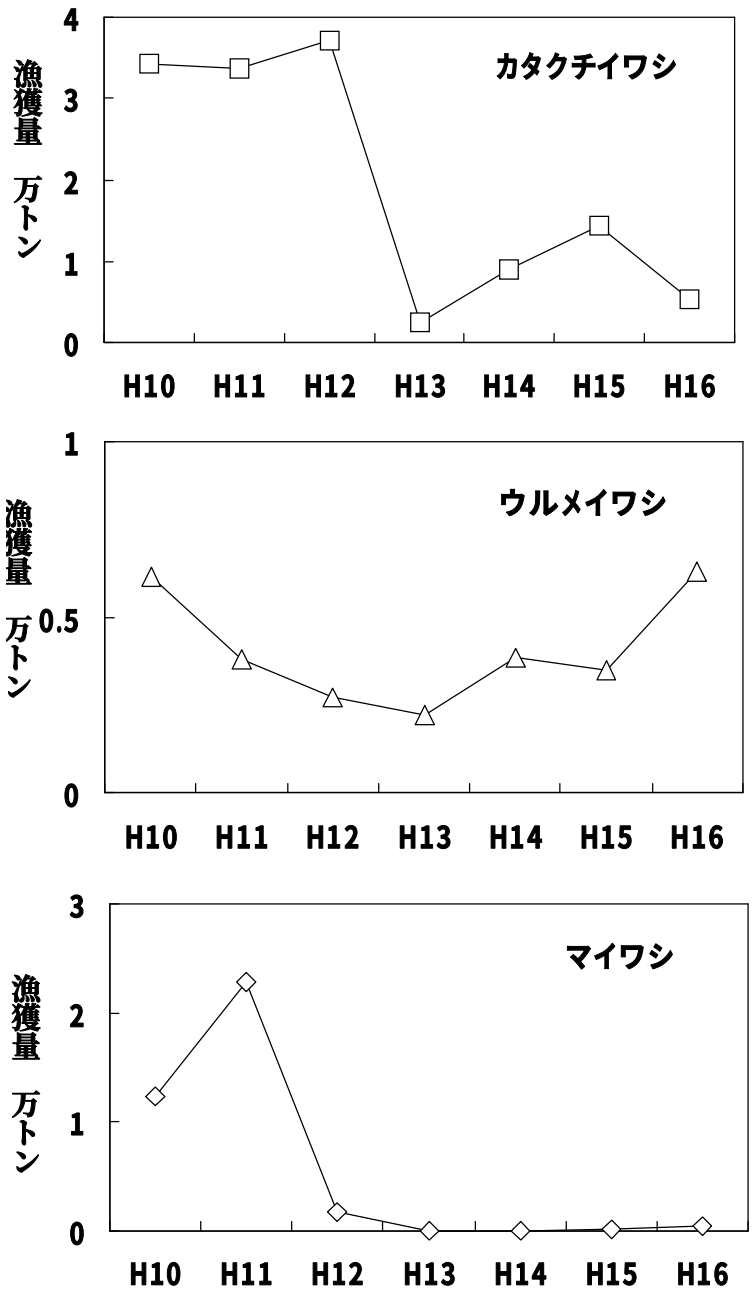


図３　島根県中型まき網（浜田・隠岐）によるイワシ類の漁獲量

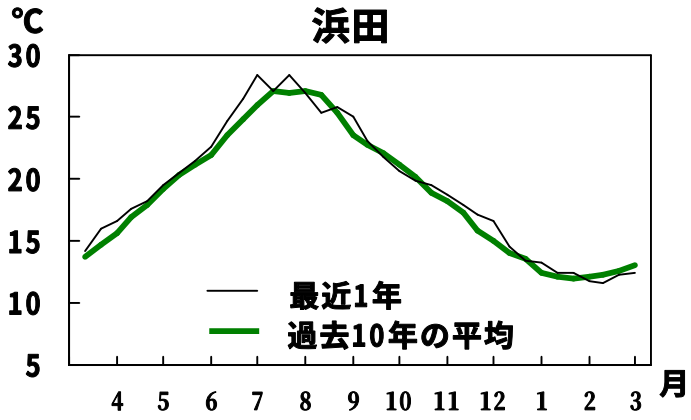
マイワシ依然として極めて低水準

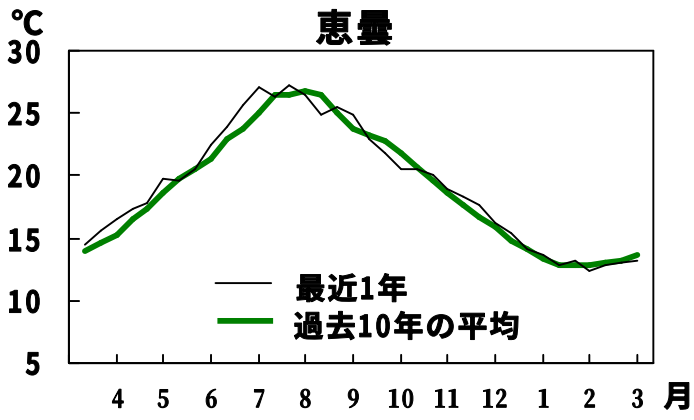
平成 16 年の島根県の中型まき網（浜田・隠岐）によるマイワシの漁獲量は約 500 トンで、前年を上回る結果となりました。しかし、マイワシは平成 13 年以降、資源状態は依然として極めて低水準であり、今後も資源状態が急速に回復する可能性は低いと考えられます。（図 3）

《 3月の海況 》

3月	月平均	平年差	評　価
浜田	12.0℃	-0.6℃	やや低め
恵曇	13.0℃	-0.2℃	平年並み

海水温は 3 月上旬には浜田で 11.6℃と、この冬の最低水温を記録、中旬以降は上昇に転じました。先月との比較では、浜田では−0.1℃、恵曇では+0.2℃となりました。





島根・鳥取・山口県の各水産試験場が 4 月 6～13 日にかけて行った海洋観測によると、各層の水温は表層(0m)が 9.1～14.9℃(平年差は－0.4～＋1.8℃) 、中層(50m)が 8.0～14.7℃(平年差は－1.2～+0.6℃)、底層(100m)が 4.2～14.5℃(平年差は－4.0～＋2.2℃)となっています。

島根県の沿岸域の水温は表層では先月より約 1℃上昇し 13～14℃となり、平年並みかやや高めとなっていますが、沖合では冷水域の影響で例年より低めとなっています。中、底層でも沿岸域は例年よりやや高めの水温となっていますが、沖合では隠岐島の北西約 60 マイル付近と日御碕沖北北西 50 マイル付近にそれぞれ冷水域が発達し、平年よりかなり低めの水温となっています。

山陰沿岸海域の水温は、表層では「かなり低め～やや高め」、中層では「やや低め～やや高め」、底層では「かなり低め～やや高め」となっています。

《 3月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田の中型まき網の総漁獲量は、マアジ主体に 670 トン、総水揚金額は 3,274 万円でした。1 統当りの漁獲量は 223 トンで、平年(過去 5 ヵ年平均)の 73%、前年の 54%と低調でした。水揚金額は 1,091 万円で、平年の 72%、前年の 56%でした。西郷では、カタクチ主体に総漁獲量 4,837 トン、総水揚金額は 1 億 8,818 万円でした。1 統当りの漁獲量は 806 トンで、平年の 138%、前年の 117%となりました。水揚金額は 3,136 万円で平年の 130%、前年の 99%となりました。浦郷もカタクチ主体で、総漁獲量 1,197 トン、総水揚金額は 8,336 万円でした。1 統当りの漁獲量は 299 トンで、平年の 111%、前年の 73%となりました。水揚金額は 2,084 万円で平年の 156%、前年の 112%となりました。

【イカ釣漁業】

浜田港に水揚げするイカ釣船（5 トン以上）の漁獲量は、スルメイカを中心に 390 トンで、平年（過去 5 ヵ年平均）の 204%、前年の 137%と好調でした。西郷のイカ釣船（5 トン以上）の漁獲量は、スルメイカを中心に 30 トンで、平年の 114%、前年の 83%でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではケンサキイカが漁獲の中心でした（1 統当り漁獲量 48.3 トンの内 15.1 トン）。1 統当り漁獲量では前年を 19%下回りましたが、水揚金額では 10%上回りました。平年（過去 10 年平均）に対しては量で 12%下回りましたが、金額では 18%上回りました。ケンサキイカは前年を 67%上回り、平年の 2 倍の漁獲がありました。

一方、カレイ類は先月に引き続き低調な漁獲となりました。前年比ではムシガレイは 71%、ソウハチは 78%、平年比でもそれぞれ 40%（ムシガレイ）、30%（ソウハチ）と低調でした。

恵曇港ではアカガレイが漁獲の中心でした。1統当り漁獲量は前年の79%、水揚金額は84%で、平年に対しても88%（量）、79%（金額）に留まりました。アカガレイの漁獲量も前年の90%でした。

【小型底びき網漁業】

大田市・和江漁協ともに、前年と比較して漁獲量で 86%～81%、水揚金額は 90%～79%に留まりました。大田市漁協の主な漁獲物はニギス、ソウハチ、ハタハタでした。ニギス漁獲量は前年同月の 77%、ソウハチは 45%に留まりましたが、ハタハタは 9.2 倍と前年を大きく上回りました。和江漁協ではヒレグロ、ハタハタ、ソウハチが主に漁獲されました。ヒレグロは前年の 1.8 倍、ハタハタは 18 倍の漁獲がありましたが、ソウハチは前年同月の 34%に留まりました。その他の魚種では、ムシガレイが前年を下回ったものの（大田市 12 トン、和江 17 トン）まとまって漁獲されています。

【定置網漁業】

県東部および隠岐地区の漁獲量は、前年の 50%、75%と低調に推移しましたが、西部地区の漁獲量は、逆に前年の 2 倍以上の漁獲量となりました。県東部では、マアジ、イカ類が、隠岐では、スルメイカを主体にヤリイカ、マアジなどが漁獲され、西部はマアジを主体にヤリイカ、サワラなどが漁獲されました。

【釣・縄】

各地区とも水揚日数が平年の 10～40%減、前年の 20～50%減となっており、漁獲量、水揚金額とも低調に推移しています。県東部ではブリが漁獲の主体となっていましたが漁獲量・水揚金額ともに平年、前年を 20%前後下回っています。県西部では漁獲量は平年並みですが前年は 20%程度下回っており、メダイが漁獲の主体でした。隠岐（島前）では、スルメイカが主体で漁獲量は平年を 40%上回り、前年並みとなっていますが、水揚金額は平年を 10%、前年を 20%下回っていました。

漁獲統計　　**平成 17 年 3 月 1 日 ～ 31 日**

漁業種類	水揚港	延隻数・統数	主要魚種	1隻(統)1航海当漁獲量	総漁獲量
中型まき網	浜田	29	マアジ	23.1トン	670トン
	西郷	—	カタクチイワシ・マアジ	—	4,837トン
	浦郷	40	カタクチイワシ・マアジ	29.9トン	1,197トン
イカ釣り	浜田	630	スルメイカ	619Kg	390トン
(5 トン以上)	西郷	—	スルメイカ	—	30トン
沖底	浜田	28	ケンサキイカ	10.4トン	290トン
	恵曇	14	アカガレイ	Xトン※※	Xトン※※
小底	大田市	280	ニギス・ソウハチ・ハタハタ	571Kg	160トン
	和江	371	ヒレグロ・ハタハタ・ソウハチ	615Kg	228トン
定置網	浜田	4	マアジ、ヤリイカ	94Kg	0.4トン
	美保関	106	マアジ、ヤリイカ、スルメイカ	172Kg	18.3トン
	浦郷	103	スルメイカ、ヤリイカ	177Kg	18.3トン
釣･縄	浜田	889	メダイ、スルメイカ、マアジ	27Kg	23.6トン
	五十猛	252	メダイ、カサゴ・メバル類、スルメイカ	25Kg	6.4トン

※　：1隻（統）1航海当漁獲量は総漁獲量÷延隻数・統数で算出しており、四捨五入した値です。

※※：個人情報保護のため非公開